

親音行



3月の目標

生活：一年間のまとめをしよう

保健：楽しく学校生活をおくろう

<http://eshachiman.synapse-blog.jp/hachimanes/>

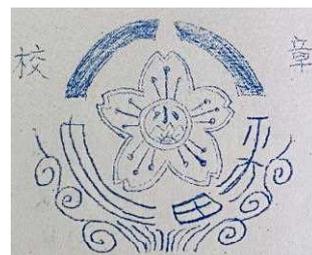
令和3年 3月号
R 3 . 3 . 1 発行

つながる141年、これからも



【篤好さん手作りの当時の校舎配置図】

校長 濱元 弘



【昭和40年頃までの校章】

3月2日（火）2校時，小島在住の地域の方を講師に招いて、『創立記念学習会』を実施しました。3月10日は，八幡小学校創立記念日です。昨年計画していたのですが，1年前の今頃は・・・。新型コロナウイルス感染拡大により臨時休業だったので，実現しませんでした。ようやく実現できた学習会。子どもたちにとって，八幡小学校を卒業した大先輩から，現在の場所に八幡小学校ができた頃の話の伺うことができるのは，大変意義のある学習となりました。

講師の方の入学時の1年生は60名いたそうです。全校で320名ほどでした。現在の約5倍の人数です。低学年の頃は，学校の校庭を整備したり，校舎を作るための材料（バラス）を何度も何度も運んだそうです。時間割の中に，その作業をする時間が組み込まれていたということです。さらに，昼食はサツマイモをふかしたもので，お米は，お正月くらいしか食べられなかった。でも，勉強は一生懸命やると力強い声できっぱりとした声で話されました。この力強さがとても印象的でした。当たり前のように給食があり，校舎，教室，校庭，体育館がある。それが普通である，座って聞いている子どもたち。どのような気持ちで，この話を聞いていたのだろう。

さて，明治13年に始まった八幡小の歴史。その歴史は，141年経った現在の子どもたちへリレーされてきています。子どもたちが想像できない，教師も保護者の方々も経験したことのない状況が事実として，ここ八幡小の地で展開されていたのです。その一年一年の積み重ねがあって現在に続いています。そして，大先輩，岩川篤好さんの話を聞いていた子どもたちが新たな一歩を踏み出して，新たな一年，新たな時代を創って，次の世代へつないでいくのです。この子どもたちの過ごす一年もまた，積み重なる歴史の中の貴重な一年となるのです。9年後，150年という大きな節目を迎え，きっと記念行事があるはず。その行事の中で，この子どもたちの中で，だれかが先輩として9年後の小学生を目の前に，自分自身が過ごした小学校時代を熱く力強く語っているかもしれません。その語っている様子や語る内容を想像するとわくわくしてきます。今のこの子どもたちが『創立記念学習会』を終えて，八幡小学校で過ごす時間の大切さを感じてくれるとうれしいです。

お知らせ

保護者の方でお子様のことやご家族のことなどでお悩みの場合は，相談に応じてくださる方（スクールソーシャルワーカー（SSW），スクールカウンセラー（SC））や機関（福祉支援課）等が町内にあります。お困りのことがございましたら，八幡小学校（47-2202，教頭）まで御連絡ください。

